

てんかん外科

てんかんの治療は抗てんかん薬の内服が原則ですが、てんかん患者さんのうち約30%は抗てんかん薬による治療では十分な発作抑制（てんかん発作を止めること）に至らないとされ、こうしたてんかんを難治てんかんと呼びます。難治てんかんに対しては手術による治療（てんかん外科手術）が有効であることが知られており、2種類の抗てんかん薬で1年治療しても発作抑制に至らない場合は早期の手術が推奨・検討されます。当院では、名古屋大学のてんかん外科治療を専門とする医師と連携し、難治てんかんに対する外科治療が可能です。選択的扁桃体海馬切除術などの各種てんかん外科治療に対応可能ですので是非ご相談ください。

顔面けいれん、三叉神経痛

脳血管の一部が顔面神経や三叉神経を圧迫刺激することにより発症すると考えられています。手術は原因血管を同定して神経から剥離し移動させる微小血管減圧術によって行います。また、内服で効果がなく、手術が困難な顔面けいれんの症例には、ボツリヌス毒素療法など体に負担のかからない治療も施行可能ですのでご相談ください。